

學 藝 新 聞

第29号 2025年(令和7年)7月19日発行

■ 特集・DD進学コース	1・2
■ 国際科	3
■ 輝く人	4・5
■ 附属中学校	6
■ 進路指導部・IELTS	7
■ ボランティアサークル	8

発行元

学校法人 大阪学芸
 大阪学芸高等学校
 大阪学芸高等学校附属中学校

〒558-0003 大阪市住吉区长居1丁目4番15号
 TEL. 06-6693-6301 FAX. 06-6693-5173

グローバル・マインドへの架け橋

英語を学び、英語で思考し、英語で表現し、英語でつながる。



大阪学芸高等学校附属中学校にはダブルディプロマ進学コース(以下、DD進学コース)が設置されています。

2024年度に設置されたこのコースには、現在、中学2年生10名、中学1年生11名が在籍しています。

この生徒たちは高等学校の国際科ダブルディプロマコース(以下、DDコース)進学を目指し、「DD Prep Program」を受講しています。

では、「DD Prep Program」とはどのような学びを展開しているのか。

続く2面で紹介いたします。



ダブルディプロマ進学コース DD Prep Programについて



このプログラムは、国際科DDコースへの進学を強く希望している附属中学1~3年生の生徒を対象としています。DD Prep Programを修了した生徒は、高校の入学試験が免除され、BCおよび大阪学芸高校の校長の承認を得て、DDコースへ進学することができます。

このプログラムでは、英語のリーディング・ライティング・スピーキングの力を重点的に育成します。また、数学と理科の基礎的な内容も扱い、国際科DDコースで必要とされる専門用語の習得を目指します。

英語言語教育(English Language Arts)では、文章・音声・視覚資料を理解するための様々な戦略を学びます。

理科(Science)では、化学・生物・物理に関連したトピックを扱い、実験や体験型のアクティビティを通して、批判的思考力と分析力を養います。

数学(Math)では、算数・幾何学・確率に関する様々な内容を学び、遊び・探究・問題解決を通じて数学への理解を深めます。

社会(Social Studies)では、カナダの歴史や文化について学びます。

美術(Art)では、さまざまな素材を用いて作品を創作し、自己表現の方法を探求します。

これらすべての教科を通じて、生徒たちは英語での

語彙力を伸ばし、批判的・創造的・内省的に考え、書く力を養っていきます。

また、DD進学コースの生徒は、通常の時間割の中で週に2回「Language Arts Plus(LAP)」の授業も受けます。このクラスでは、様々な教科分野のトピックや文章を用いて、読解・要約・分析・批判的な文章の書き方を学び、学習に役立つ語彙や表現も習得します。LAPの目的は、中学生レベルの言語アートの力を育て、OGCISでの様々な課題やプロジェクトに対応できる力を身につけることです。

授業内では、ユニークな方法で学習意欲を高めます。例えば、右の写真にある美術の授業では、生徒たちは自分の好きなものについてのミニ雑誌を作成しました。

DD進学コースの校外学習では、長居公園にある大阪市立自然史博物館を訪れ、大阪地域に生息する動植物について学びながら展示を見学しました。



OGCIS Double Diploma Prep Program

The BC/JP Double Diploma Prep Program Gr 7-9 is designed for those students planning to enter the BC Graduation Program Gr 10-12. It is expected that following the successful completion of the DD Prep Program, that students may enter the BC Graduation Program without writing the English or Japanese entrance exams and as approved by the BC and Japanese Principals.

The DD Prep Program focuses on developing the English Language Arts skills of Reading Comprehension, Writing Development and Oral Communication. Students also have experience with a basic math and science program which aims to develop the specific vocabulary required for those subjects in the BC Gr 10-12 Graduation Program.

In language arts, students explore different strategies to comprehend written, oral, and visual texts. In science, students explore different topics related to chemistry, biology, and physics. Students develop their critical thinking skills and analytical skills by participating in experiments and hands on activities. In math, students explore different topics related to arithmetic, geometry, and probability. Students develop, demonstrate, and apply mathematical understanding through play, inquiry, and problem solving. In Social Studies, students learn about different parts of Canadian history, culture, and more. In art, students

engage with different materials and explore various artworks and learn different ways of expressing themselves through creating personal works of art.

Throughout all these subjects, students develop their vocabulary in English while learning to think and write critically, creatively, and reflectively.

DD Prep students also do Language Arts Plus (LAP) twice a week during their regular timetable. In that class, they learn how to comprehend, extract, analyze, summarize, and critically write using a variety of topics and texts in different subject branches. They also learn useful vocabulary and phrases to help them with these topics. The goal of LAP is to develop middle school language arts skills that will enable them to excel in the many assignments and projects students do across all subjects at OGCIS.



During this art lesson, students created mini-magazines about their favourite things.

Prep Program students visited the Osaka Museum of Natural History in Nagai Park to explore the exhibits learn about plants and animals native to the Osaka area.

グローバルコース ターム留学で学んだこと



オーストラリア・アデレード



● 一番学ぶことができたのは英語ですが、それ以外に文化の違いもたくさん学ぶことができました。私は中国の子、ベトナムの子とよく過ごしていましたが、食事のマナーや物事に対する価値観が全く違いました。学校も日本とは異なり、授業ごとに教室移動をして好きな席に座るといった形でした。先生に背を向けて座る時もあり、面白く感じました。ランチタイムに屋外で地面に座って食べることも驚きました。

初めは英語で話すことがちょっと怖くて自分からなかなか話せませんでした。話そうとする姿勢を見せると、相手も言いたいことを理解しようとしてくれたり、正しい言い回しを教えてくださいました。英語に自信がなくても話そうとすることが大事だとわかり、たくさん英語に触れることで英語力が伸びることを実感しました。

● 私がターム留学をしたと思った理由は、日本だけではなく違う国の学生生活、文化を体験したいと望んだからです。留学が始まって1週間は英語が全く理解できないし、生活スタイルが日本と異なる点が多く、予想通り不安の多い日々でした。しかし、3か月間たくさんのことを学んで楽しめるようになったので、帰国時にはとても寂しく、せっかくできた友達とも会えなくなってしまうことを悲しく感じました。物事に積極的に取り組もうとする姿勢も少しずつ身につけることができ、いろいろなことに挑戦しようと思えるようになりました。



ニュージーランド・ウェリントン

● 留学を決意したきっかけは、中学生の時にニュージーランドから転校してきた女の子との出会いでした。話の中で、彼女は「日本はとても住みにくい」と言い、それを聞いて、なぜだろうという思いが芽生えました。そこで、もっとたくさんの外国人と会話をしたい、ネットで得る情報や画像ではなく、自分の目で見て、他国の文化や価値観を学びたいと思いました。

ウェリントンは自然豊かで人々も優しく、とても素晴らしい町です。現地の学校は日本の学校とは全く異なり、毎日が驚きの連続でした。自分の想像を越えて英語が通じず、本当に苦戦し毎日悔しい思いをしました。ニュージーランドは多文化社会で、様々な文化や価値観の違いを知り、その壁を乗り越えることは、想像以上に大きなエネルギーが必要でした。ですが、いろいろな人々と出会い、多様な文化や価値観に実際に触れることによって、自分の世界が広がることは本当に楽しく、毎日成長を実感しました。今までにない達成感を得て、将来の可能性も広がり、自信にもつながりました。



ニュージーランド・タウランガ

● 留学を通して、経験したこと全てが学びとなり、留学に行く前よりも人間的に強くなった気がします。また、自分自身を見つめ直すきっかけにもなりました。

ニュージーランドでしか出会えなかった大切な友達や、尊敬する人たちも、留学で得た財産です。私を大切に思い、高校時代に海外で学校生活を送るという貴重な経験をさせてくれた保護者に心から感謝しています。私は留学をゴールにせずスタート地点と捉えて、これからも英語と関わり続けていきたいと思っています。



ダブルディプロマコース

大阪・関西万博への校外学習



国際科ダブルディプロマコース全学年の生徒がカナダ大使館とカナダ万博実行委員会よりご招待いただき、大阪・関西万博・カナダナショナルデーの5月17日(土)、当日のボランティア活動やセレモニーに参加しました。

生徒たちは9時30分に夢洲駅に集合し、東ゲートから入場後、カナダパビリオンに向かいました。カナダ館では今年の西暦にちなみ、カナダ産メープルシロップをかけた2025枚のブルーベリーパンケーキが朝から振る舞われ、館外ではライブパフォーマンスが行われました。3年A組の生徒たちは一足先に会場入りし、来場者にパンケーキを渡し、招待客の方々に専用のレーンにご案内するなど、ボランティアとして笑顔で来場者をおもてなしし、一緒にイベントを盛り上げていました。

11時からは、オフィシャルナショナルデーセレモニー・文化パフォーマンスに参加しました。式典では、最初にカナダの王立騎馬警察がカナダ・日本両国の国旗を掲揚しました。国際博覧会担当大臣の伊東良孝氏とカナダ政府代表のローリー・ピーターズ氏のスピーチの後、先住民の歌や踊り、カナダ出身のDJ・Kookumや音楽グループのLe Diable à Cinqによるステージ等、公用語の英語とフランス語による迫力あるライブパフォーマンスが展開されました。生徒たちはカナダの国旗を振って感嘆の声を上げ、歴史や文化に思いを馳せる貴重な時間となりました。

その後、生徒たちは17時まで自由行動の時間となり、それぞれに興味のあるパビリオンを訪れました。今回、カナダ大使館とカナダ万博実行委員会のご厚意により、カナダパビリオンの赤いリストバンドがあればカナダの他、いくつかのパビリオンにも優先的に入場可能でした。皆この機会を存分に活用しようと、イタリア、アメリカ、フランス、ドイツといった海外パビリオンに足を運んでいました。カナダパビリオンでは、専用のタブレットをかざすとAR(拡張現実)でカナダの大自然や文化が映し出されました。また、他の海外パビリオンでは、普段ならば現地に行かないと鑑賞できない芸術作品が展示され、また宇宙開発の未来や環境問題を楽しく学べる仕掛けなどもあり、知的的好奇



心を刺激されるものばかりでした。

事後学習として、今回の校外学習での学びを今後の自身の進路研究にどのように活かしていくかについてレポートを作成しました。

以下、生徒たちの感想をご紹介します。

「万博を通して、さらに世界を知ることが出来ました。いろいろな国の展示を見て、それぞれの国の価値観や考え方にたくさん出会いました。」「カナダの先住民の話を目の前で伺ったり、伝統的な踊りを拝見したりすることで、カナダの文化を象っている土台の部分を実感することができました。」「今回のEXPOを通して、自然環境を守るための多くの道があることを改めて実感しました。」「各国が伝えたいメッセージと、それを表現する方法の多様性に触れ、『伝え方』の奥深さを実感しました。ただ情報を示すだけでなく、『どう伝えるか』によって受け手の感じ方や理解の深さが大きく変わることを、五感を通して体験できました。」「グローバル化が進む中、多様性を考えた視点が大事なことに改めて気づきました。」

大阪・関西万博の目標として掲げている「持続可能な開発目標(SDGs)達成への貢献」および「日本の国家戦略Society5.0の実現」については、日頃から総合探究等の授業で学んでいますが、このように万博のパビリオンで実際に見て・触れて・感じられる機会を持つことは、非常に有意義であると再認識しました。

国際社会の未来を担っていくダブルディプロマコースの生徒たちが、今回の校外学習で得た気づきをもとに、よりよい社会を実現するために貢献できる人材となっていくことを、大いに期待しています。



卒業生の活躍



国家試験を越えて リハビリの現場へ

若手理学療法士の挑戦

ひら た な な こ
平田 奈々子さん

学歴・職歴

- 2020年3月 大阪学芸高等学校 卒業
- 2020年4月 畿央大学健康科学部理学療法学科 入学
- 2024年3月 畿央大学健康科学部理学療法学科 卒業
- 2024年4月 医療法人穂翔会村田病院 入職



▶ 現在なさっているお仕事について

理学療法士として、主に脳神経外科疾患の患者様のリハビリテーションを実施しています。

▶ どのような高校生活を送っておられましたか

部活動は女子バレーボール部に所属しており、毎日練習があり大変でしたが、試合で良い成績を残すために頑張っていました。学校生活では、クラスの友達と話すことや、体育祭や文化祭、スポーツ大会などの行事を楽しんでいました。

▶ 現在のお仕事を目標にしたきっかけは何ですか

部活動で怪我をしたときに通っていたクリニックで、理学療法士の先生に出会い、身体的にも精



神的にもサポートしていただいたことがきっかけです。私自身も理学療法士として、怪我で困っている人の力になりたいと思い、理学療法士を目指しました。

▶ 現在のお仕事に関わるために努力なさったこと・苦労なさったことを教えてください

理学療法士は国家試験があるため、大学での勉強量も多く、特に学期ごとの試験や国家試験前には、毎日勉強を頑張っていました。高校までとは全く違う専門的な内容を学ぶため、初めて聞く言葉や難しい内容がたくさんあり、一つ一つを理解し、覚えていくことに苦労しました。また、実習では、大学内の学生同士で練習していた時と違い、実際の患者様に対して評価や治療を実施する為、コミュニケーションの取り方や介助の仕方などを様々な症状のある患者様に適応するのに苦労しました。

▶ 現在のお仕事に関わるために必要な知識・技能・資格について教えてください

理学療法士国家資格が必要となります。解剖学や生理学、運動学などの体の基本的な知識から、評価・治療や各疾患についての専門的な知識、また評価や治療、介助の仕方などの技術が必要となります。

▶ 現在のお仕事の魅力・やりがい・苦労について教えてください

リハビリテーションを実施していく中で、身体機能や動作能力が改善していくのを感じたり、毎回のリハビリテーションが終わるときや退院をするときに患者様から感謝してもらうことややりがいを感じています。一方で、評価した結果から効果的な治療方法を選択し、治療を実施していくことに苦労しています。評価と治療を繰り返し、より最適な治療を考え、実施していくことを難しく感じています。また、患者様の症状や性格、精神状態に合わせて、適切なコミュニケーションを取ることに苦労しています。その中でも、患者様が私の名前を覚えてくださり、リハビリを楽しみにして頑張ってくれ、取り組んでくださることがとても嬉しく、さらに私も頑張ろうと思えてきます。

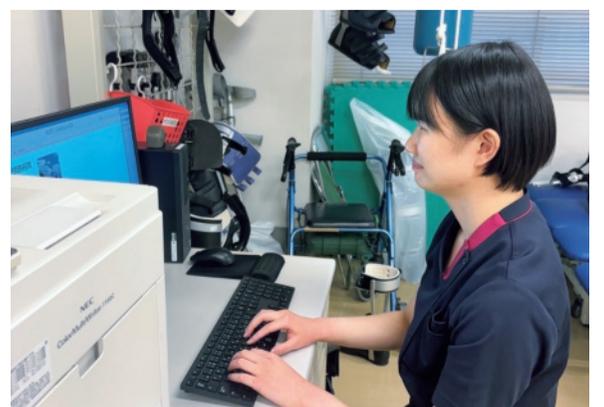


▶ 将来の目標・夢を教えてください

文献や資料を読んだり、学会に参加したりすることで、多くの知識を身に付け、患者様から信頼していただけるような理学療法士になることを目標にしています。

▶ 在校生へのメッセージをお願いします

高校生活はすぐに過ぎて行ってしまいますので、友達との時間や体育祭・文化祭などの行事を大切にしてください。勉強や部活動で大変な人もいますが、大変なことを乗り越えるとその後の人生の糧になるので、仲間と一緒に頑張りたいと思います。





心・技・体を鍛え、100%の体操を目指します

米本優花さんの“跳躍”する高校生活

よねもと ゆうか
米本 優花さん (高3)

主な出場大会及び結果

2022年度	第76回全日本体操種目別選手権	・・・出場
	全日本ジュニア選手権大会 2部	・・・個人総合 3位 種目別 床 優勝・平均台 3位
	第77回国民体育大会	・・・団体 9位
2023年度	新人大会	・・・個人総合 2位 種目別 床 2位
2024年度	第40回全国高等学校体操競技選抜大会	・・・出場
	令和6年度大阪高校選手権大会 兼 全国・近畿大会予選会	・・・個人総合 3位 種目別 段違い平行棒 3位・床 2位
	第78回国民スポーツ大会大阪府予選会	・・・個人総合 3位
	令和6年度全国高等学校総合体育大会体操競技大会	・・・出場
	第78回国民スポーツ大会近畿ブロック大会	・・・団体 優勝 種目別 床 優勝・跳馬 3位
	第78回国民スポーツ大会	・・・団体 4位
	新人大会	・・・個人総合 優勝 種目別 跳馬 優勝・段違い平行棒 3位・床 優勝
2025年度	第41回全国高等学校体操競技選抜大会	・・・出場



体操を続ける中で「自分の目標に向かって努力すること」「最後まで諦めずやり遂げる強い精神力」「礼儀正しい振る舞い」そして「先生や仲間がいることの素晴らしさ」「すべての人やことやものに感謝する気持ち」など、本当にたくさん学ぶことができ、良かったな、としみじみ思っています。

▶ 学業との両立に関して努力、工夫していることを教えてください

生活の中で「体操」を優先することも多く、学校をお休みしないといけない時もありますが、課題にはしっかりと取り組み、提出すべきものは必ず提出しています。定期考査前や定期考査中は、対策のポイントをつかみ、効率よく勉強することを心掛けています。

▶ 今後の抱負、将来の目標を教えてください

大学に進学し、体操を続けたいと思っています。競技に臨むからには結果は大事です。でも、結果ばかり気にするのではなく、精一杯努力し、自分としてその時点で出せる力を100%発揮することが大切だと思います。この先、辛いことがあっても諦めず、常に向上心を持って頑張りたいと決心しています。もっと多くの方々に体操を知ってもらうため、将来は指導者になって貢献したいと望んでいます。

▶ 在校生への一言をお願いします

器械体操は、柔軟性、力強さ、正確さ、そしてバランスの全てを必要とする魅力的なスポーツです。そして、身体を鍛えるだけでなく、心も鍛えることができます。一人でも多くの方が少しでも興味を持っていただけたら嬉しいな、と思っています。

試合を観たり、チャンスがあれば体験したりすることによって、もっとたくさんの方に体操の魅力を知ってほしいと思います！

▶ 体操競技を始めたきっかけについて教えてください

私は小さい頃から身体を動かすことが大好きでした。幼稚園で遊んでいた時に、友達のお母さんに勧められて体験に行ったのが私と体操との出会いで、それが始めるきっかけです。

最初は遊び半分楽しくやっていたのですが、通っているクラブのお姉さん選手たちがすごい技を次々と決めるのを見て、「自分ももっといろんな技を成功させたい!」「もっと上手になりたい!」と思うようになり、選手として本格的に取り組むようになりました。



▶ 体操競技を続ける中で、良かったと思えること、嬉しい・楽しいと思えること、辛いと感じることなどについて教えてください

競技を続ける中で、技が上手くできないことが重なったり、下の学年の強い選手にどんどん抜かれていったりして悩む時もあり、怪我や体調管理、プレッシャーなどで辛いと感じることもたくさんありました。

しかし、いつも応援してくれている仲間や支えてくれている先生、家族がいることで頑張ろうと思える力が生まれました。新しい技ができるようになった時や試合で良い演技ができた時は、とても嬉しくなります。



附属中学校

新しい一歩と深まる絆—学芸附属中の春期活動記

附属中学校の1学期の取り組みを紹介します。

中学1年生

文武両道の序章：入学式&宿泊研修ハイライト



入学式

4月5日(木)、堺市にあるフェニーチェ堺にて入学式が行われ、新中学1年生81名が緊張した面持ちで式に臨みました。学校生活に慣れて楽しく過ごしながら、一日一日を大切に、勉強や部活動、習い事などに一生懸命に取り組むことで文武両道を目指して、大きく成長してください。

宿泊研修

4月17日(木)~18日(金)、例年と同じく滋賀県高島市にある奥琵琶湖マキノパークホテル&セミナーハウスで研修を行いました。

到着して昼食を取り、すぐに最初の活動であるカヤック体験を行いました。ライフジャケットを身に付け、自分たちで協力して琵琶湖までカヤックを運びます。シングル&ペアのカヤックに乗り込み、恐る恐る琵琶湖に漕ぎ出しました。「転覆したらどうしよう」と心配していたのは最初だけで、



すぐに慣れて、みんなで沖の方までツーリングに出かけていました。カヤック後の活動は、バウムクーヘン作りです。初めての体験ではありましたが、作り方の説明を受けて班で協力しあい、「本当にお店で売っているようなバウムクーヘンができた!」と喜びの声が上がっていました。自分たちで作っただけあって、特別に美味しいバウムクーヘンを味わうことができました。

夜は、クラスごとに分かれて「仲間作り」をテーマに、ミニHRを行いました。提示された並び方を確認し、言葉を交わさずにその通りに並び、というゲームにも挑戦。難しい、と思いきや、意外にも全員が目と目で心を通じ合わせ、ジェスチャーを交えながら、提示通りに並ぶことができました。就寝前のひとときが、自分たちだけでなく教員も巻き込んだ楽しい時間となりました。

2日目は6時30分に起床、7時に集合して琵琶湖まで散歩をしました。昨日のカヤックの時とは違う、早朝の静かな琵琶湖を眺めることができました。



メインイベントのカレー作りでは、調理班とかまど班に分かれて作業をしました。調理班が野菜や肉を切り、米を研いでいるあいだに、かまど班が薪に火をつける、という風に、それぞれのタイミングをうま

く合わせる必要があります。1組と2組、混合の班でしたが、みんなお互いに声を掛け合い、協力し合って美味しいカレーを作ることができました。他の班のカレーを一口もらい、味の品評会を開いている班もありました。

そして、施設の方の厳しいチェックがある後片付けでも、鍋の焦げが残らないようにしっかりと磨き上げ、合格をもらっていました。

この宿泊研修の活動を通して、生徒同士が自主的にコミュニケーションをとり、協力し合う姿勢が育まれました。これからも学校生活を通して、より良い交友関係を作っていくと期待しています。



中学3年生

B&Sプログラムで育む国際感覚：実り多き台湾4日間

修学旅行

5月14日(水)から17日(土)の3泊4日の日程で実施した中学3年生の修学旅行は、無事に全日程を終えることができました。これもひとえに、保護者の皆様のご理解とご協力の賜物であり、心より感謝申し上げます。

生徒たちは、台湾の豊かな歴史や文化、そして人々の温かさに触れ、多くの学びと感動を得ることができました。集団行動を通じて協調性を育み、異文化体験を通して視野を広げることができた、実り多き修学旅行となったことを報告いたします。

1日目：台湾到着、歴史と夜景を満喫

5月14日(水)、生徒たちは期待に胸を膨らませ台湾に到着しました。まず向かったのは、台北最古の寺院である龍山寺です。荘厳な雰囲気の中で占いを体験するなど、台湾の文化に触れる貴重な時間となりました。夕食は本場の中華料理に舌鼓を打ち、その後は台湾のシンボルである台北101へ。地上500mからの絶景に、生徒たちは歓声を上げていました。



2日目：台湾文化体験と幻想的なひとときの共有

2日目：台湾文化体験と幻想的なひとときの共有

5月15日(木)は、台湾の食文化を体験する小籠包作りからスタート。自分たちで作った熱々の小籠包の味は格別で、生徒たちの笑顔が溢れていました。午後は、世界四大博物館の一つである故宮博物院を訪れて「翠玉白菜」などの貴重な展示品を鑑賞し、台湾の歴史と芸術の奥深さに触れました。その後、十分へ移動し、それぞれの願いを込めたランタンを空に放つ体験は、幻想的で心に残る思い出を作りました。そして、『千と千尋の神隠し』の舞台とも言われる九份を散策。提灯の灯りが彩るレトロな街並みに、生徒たちは魅了されていました。



3日目：先住民族の方々との交流および大学生との交流

5月16日(金)は、自然豊かな烏來(ウーライ)へ。台湾の先住民族のうちタイヤル族の方々との交流を通じて、独自の文化や生活に触れ、視野を広



げることができました。また、トロッコに乗って雄大な景色を楽しむなど、自然を満喫しました。午後は、本修学旅行の大きな目玉の一つであるB&S(ブラザー&シスター)プログラムを実施。生徒たちは、台湾の大学生とグループになり、事前に計画したルートで台北市内を散策しました。大学生との交流を通じて、異文化コミュニケーションの楽しさや難しさを肌で感じ、今後の学習意欲にも繋がる貴重な経験となりました。夕食はモンゴリアンBBQを楽しみ、夜は台湾の活気ある夜市を散策し、独特の雰囲気を満喫しました。

4日目：旅の締めくくり

最終日の5月17日(土)は、忠烈祠(ちゅうれつし)を訪れました。荘厳な雰囲気の中、迫力ある衛兵交代式を見学し、台湾の歴史と文化に触れる旅の締めくくりとなりました。

この修学旅行で得た経験は、生徒たちの今後の成長に繋がる貴重な財産となることと確信する4日間でした。今回の経験を今後の学校生活に活かし、さらに大きく成長することを期待しています。

附属中学校の取り組み

新型コロナウイルスの影響で4年間にわたり中止、縮小していた附属中のみ集会を、昨年度から毎週月曜日の始業前に再開しています。北館の体育室に全学年集まり、自治会の附属中代表が全体の司会・進行を担います。毎週、中学の各先生方による、勉強に関することや学校生活に関連する様々な講話を聞きながら、自分たちの毎日の生活や行動、学校生活に臨む気持ちを引き締め、誰もが良い学校生活を送るためにはどうしたらいいか、自分が何をすべきかを考えて行動してほしいと思います。

また、週3回終礼時に「計算テスト」を実施しています。問題数は5問と少ない数ですが、焦って、普段ならやらないような「うっかりミス」を犯してしまうこともあります。どんな状況でも速く正確に計算する意識を持ち、数学の基礎力を身につけ、自分の苦手な部分を克服できるようにしてほしいと願っています。

中学2年生

知識を固める冬合宿：長時間学習で挑む“自己超え”

勉強合宿

中学2年生は例年夏に行っている勉強合宿を、今年度は12月18日(木)~19日(金)に予定しています。2日間を

通じて、これまで学んだ知識の復習だけでなく、長時間自学自習することのできる姿勢を養い、3年生での修学旅行に向けて、ホテルでのマナーもしっかりと身につけてほしいと思っています。





自分に合った講座で飛躍 進路指導部“放課後講習”始まる



“放課後講習 全学年スタート!” —全学年講座選択制導入へ!—

5月26日(月)より、全学年講座選択制の放課後講習として、完全対面の希望制講習が始まりました。従来通り一部のコースを除いて高校1・2年生は、夏期講習のみ全員必須受講としていますが、放課後講習については全て希望制となっています。また、高校3年生は年間を通じて放課後講習・季節講習(夏期講習・冬期講習・特別講習)を完全希望制としています。附属中学生は夏期講習のみ全員必須受講で実施しています。

意欲ある生徒が多く受講し、良いスタートを切ることができました。通年で高校1・2年生は15回+夏期講習、高校3年生は10回+夏期講習・冬期講習・特別講習となります。目標とする学力への到達や志望校合格を目指す生徒たちの頑張りを、しっかりとサポートしていきます。

講座一例			
高校1年生	英検2級 対策講座	中級古文	基礎数学
高校2年生	英検2級 対策講座	漢文特講	数学(標準)
高校3年生	関関同立 対策英語	化学 (ハイレベル)	基礎古文



海外進学も国内総合型も視野に 大阪学芸のIELTS戦略とその成果



2025年3月、大阪学芸高等学校は、英語4技能試験「IELTS(アイエルツ)」を運営するIDP Educationより「IELTS推進校」に認定されました。これは、本校が英語教育においてIELTSを積極的に活用し、生徒の英語力向上と進路選択の幅を広げる取り組みを評価された結果です。

IELTSは、リスニング、リーディング、ライティング、スピーキングの4技能を測定する国際的な英語試験で、年間400万人以上が受験し、世界12,500以上の教育機関や企業で認定されています。日本でも受験者数は増加しており、特に近年では高校生の間で注目が高まっています。その理由として、IELTSのスコアが海外大学への進学だけでなく、国内大学の総合型選抜や帰国生入試などでも活用できる点が挙げられます。

しかし、IELTSは一般的にTOEICや英検に比べて難易度が高いと言われており、本校では、以下のような取り組みを通じて、生徒のIELTS対策、団体受験を行いました。

1. 教員の指導力向上：12名の英語科の教員が「IELTS Teacher Training Program」を受講し、IELTS検定についてより詳しく理解し、指導する機会を設けました。特にライティングとスピーキングの指導力を向上させています。



2. 授業でのIELTS対策：毎朝のホームルームで、QuizletやBBC 6 Minute Englishを活用したりリスニング練習やペアでのスピーキング練習を実施。また、夏期授業や特別授業では、DDコース・2年生と1年留学コース・3年生の希望者による2、3年生の合同クラスで集中的にIELTS対策を行いました。
3. IDPとの連携による受験支援：試験前には、IDPと協力して対策講座を提供し、受験会場の見学、プレテストを実施しました。さらに、テストセンターを借り切って団体受験を行っています。

これらの取り組みの結果、団体受験を行った13名の生徒のうち、4名がC1レベル(IELTS 7.0~8.0)、7名がB2レベル(IELTS 5.5~6.5)を達成するなど、英語力の向上が顕著に現れました。また、IELTSのスコアを活用して、国内外の大学への進学実績も増加しています。

今後もIELTSに関わる取り組みを進めることによって、生徒たちの進路選択もさらにグローバルに広がることを期待されています。



セレッソから国際交流まで

広がる学芸生の社会貢献

本校のボランティアサークルは、「セレッソボランティア」・「国際ボランティア」・「地域清掃ボランティア」の活動に参加したり、入試説明会の補助生徒という役割を担ったりしています。令和7年度は、200名以上の意欲ある生徒が登録しています。それぞれの場所で様々な形で地域に貢献し、その経験が生徒たちの成長にもつながっています。今年度も参加生徒全員で意欲的に活動していこうと考えております。



セレッソボランティア

セレッソボランティアは、大阪学芸高校とオフィシャルパートナーであるセレッソ大阪のホームゲームにおける準備や運営のお手伝いをする、ボランティアサークルの柱となる活動です。ブースの設営や受付ゲートでのチラシ配布、車いすのお客様の対応などグループに分かれて活動します。令和7年度は4月29日(火)からのスタートとなり、サッカー観戦のお客様方を元気な笑顔で迎えました。今年度も出来る限り多く参加できるよう活動していきます。



地域清掃ボランティア

地域清掃ボランティアは、自分たちが通学路として日頃利用している長居～鶴ヶ丘間の道や溝を清掃する活動です。班決めを行い、ごみ袋とトングを持って学校を出発。タバコの吸殻やペットボトル、お菓子の空き箱など道端には様々なゴミが落ちています。活動時には通行する地域の方々から「ありがとう」「頑張ってるね」などのお声がけをいただき、参加した生徒たちの励みとなっています。今年度も出来る限り実施していきたいと考えております。



入試説明会 補助生徒

本校実施の説明会における補助生徒の仕事を、ボランティアサークルメンバーが担っています。事前に入試広報部の先生方から活動内容や注意点の指示を受け、当日はそれぞれの担当に分かれて活動を行います。校舎前や玄関での来校者の方々の誘導、受付や体験授業の場所への案内など、中学生や保護者の方々に本校生徒の代表としての姿を見ていただいています。中学生にとって人生のターニングポイントのひとつである高校受験に際し、受験校選択につながる可能性のある仕事なので、責任感を持って活動しています。

国際ボランティア

「国際ボランティア」は、大阪国際交流センターが実施するイベントをお手伝いする活動であり、例年8月に実施しています。毎回、様々な国の方々と交流し、多様な経験を積むことができるため、生徒たちも毎年楽しみにしている活動のひとつです。

